



事業整理シート

事業名	消防本部車両等更新整備事業	整理番号	3202-020			
所管	消防本部 警防課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間		～		根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置付け	消防車両等整備計画				
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足			

●事業の内容

目的	住民の生命、身体、財産の保護と被害の軽減を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)全域
手段	消防車両更新計画に基づき、救急車、水槽付消防ポンプ自動車の更新及び無人航空機(ドローン)整備
令和4年度末までの事業実施状況	御殿場消防署消防ポンプ、御殿場消防署救急自動車及びはしご付消防ポンプ自動車を更新
事業の背景・住民意見の反映	災害時における住民の生命、身体、財産の保護及び救命率の向上を目指している。
事業の評価と改善(R4→R5)	消防車両等更新計画に基づき計画的に更新しているが、緊急度、優先度を検討し更新を進める。


●事業計画 (単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・富士岡分署 水槽付消防ポンプ自動車 ・無人航空飛行機(ドローン) ・消防本部 連絡車(アトレ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小山消防署 水槽付消防ポンプ自動車 ・小山消防署 高規格救急車 	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿場消防署 水槽車 ・富士岡分署 高規格救急車 	/	
事業費	88,000	122,000	122,000	332,000	
財源内訳	国補	14,957	14,819	18,516	48,292
	防衛		19,943		19,943
	県補	6,485	4,939	16,172	27,596
	市債	58,200	80,300	78,500	217,000
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	2,006	480	2,115	4,601
	寄付				0
その他				0	
一般	6,352	1,519	6,697	14,568	

事業整理シート

事業名	富士岡分署整備事業	整理番号	3202-080			
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	2022年度 (令和4年度)	～	2027年度 (令和9年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足		

●事業の内容

目的	富士岡分署庁舎の移転建設事業を行い、地域住民の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理の確保を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	富士岡分署庁舎の建設に係る費用は御殿場市が負担、その他については御殿場市・小山町広域行政組合が負担して事業を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	建設用地を決定し、当該用地の分筆測量業務を開始した。
事業の背景・住民意見の反映	富士岡分署は昭和51年に建設され、40年以上が経過した。老朽化による施設の不具合が多数生じており、住民の安全・安心のために昨今の救急事情や多様な災害に対応するべく、車両及び資機材の増設並びに職員の増員に伴い、庁舎及び敷地の拡大が必須となる。
事業の評価と改善(R4→R5)	令和4年度から実施していた分筆測量業務を令和5年度に終了し、用地の売買契約及び基本計画の策定を行う。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業内容	払下げ用地測量 用地払下げ 基本・実施設計 造成設計 技術支援負担金	基本・実施設計 造成設計 造成工事 技術支援負担金	造成工事 建築工事 工事監理費 技術支援負担金	/
事業費		39,600	99,100	373,700	512,400
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	1,900	73,900	279,800	355,600
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	37,700	25,200	93,900	156,800	

事業整理シート

事業名	小山消防署整備事業	整理番号	3202-100			
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足		

●事業の内容

目的	小山消防署の建替えに伴う指令装置の移設、備品等の更新及び解体工事。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	小山消防署庁舎の建設に係る費用は小山町が負担し、その他については御殿場市・小山町広域行政組合が負担して事業を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	小山町主体で建設用地の購入と基本計画の策定が終わり、令和5年3月から基本設計委託業務が開始した。
事業の背景・住民意見の反映	小山消防署は昭和47年に建設され、50年が経過した。老朽化が進み度重なる修繕を行っているが、公共施設総合管理計画において最優先で立替えが必要となっている施設。小山消防署あり方検討会で議論され、防災拠点が整備されることにより、住民の安心・安全が確保され、広域災害にも幅広い対応が可能となる。
事業の評価と改善 (R4→R5)	小山消防署の建設については、令和3年度に用地取得、令和4年度に基本計画、基本設計、令和5年度に造成・実施設計、令和6年度に造成・建築工事を進めていく。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	建設事業委託(2年目)		建設事業委託(3年目) 解体設計	建設事業委託(4年目) 備品等購入 指令装置移設 解体工事	/
	事業費	818,800	665,300	455,600	1,939,700
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債			40,500	40,500
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山 寄付	818,800	663,551	358,704	1,841,055
	その他				0
一般	0	1,749	56,396	58,145	

事業整理シート

事業名	消防本部庁舎改修事業	整理番号	3202-110		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2027年度 (令和9年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足		

●事業の内容

目的	消防本部庁舎の改修を行って地域住民の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理の確保を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	消防本部庁舎の具体的な老朽度及び増改築部分を調査後に明確にして改修する。
令和4年度末までの事業実施状況	空調や照明設備に関しては、令和元年度から4か年で改修を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	消防本部庁舎は平成6年に建築され、29年が経過している。その間、建物に関して大規模な改修を実施していないため、老朽化による施設の不具合が頻発していると共に、建設時には想定していなかった災害の多様化、女性職員の活躍、職員と資機材の増加により、増改築が余儀なくされている。
事業の評価と改善 (R4→R5)	空調や照明設備等については、機能不良により順次改修していたが、諸室不足や雨漏り等、根本的な改修に至っていないため、老朽度調査を実施して庁舎の脆弱部を洗い出す。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	庁舎外壁等改修設計		庁舎改修設計		/
	外壁等改修工事 工事監理費				
事業費		79,500	19,000		98,500
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	59,600	14,200		73,800
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	4,775	1,151		5,926
	寄付				0
	その他				0
一般	15,125	3,649	0	18,774	

事業整理シート

事業名	高機能消防指令システム更新事業	整理番号	3202-120			
所管	消防本部 通信指令課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2024年度 (令和6年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足		

●事業の内容

目的	老朽化した高機能消防指令システムの更新を行う。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	計画的に設計業務を行い、結果に基づいた更新を行う
令和4年度末までの事業実施状況	高機能消防指令システム更新計画による監理業務について、システム設計面及び工事設計面等基本構想から発注・契約準備及びシステム構築に向けて、確認調整し資料収集等を行っている。
事業の背景・住民意見の反映	平成21年度に高機能消防指令システムが導入され、平成29年度に安定的な維持のため、情報系、指令系の延命化事業で構成機器の部分更新を行い、継続使用しているが、全てを新規更新する必要がある。
事業の評価と改善 (R4→R5)	住民サービスを考慮し、高機能消防指令システムの安定稼働を図ることにより、市町民の安全が確保でき、確実な事業完了を目指す。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		基本設計業務委託 消防指令システムUPS交換修繕	実施設計業務委託 気象観測装置交換修繕(消防本部・須走)	施工監理業務委託 備品等購入(高機能消防指令センターⅡ型)	/
	事業費	16,900	10,100	654,600	681,600
財源内訳	国補				0
	防衛			201,876	201,876
	県補				0
	市債			334,800	334,800
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	4,056	2,424	28,299	34,779
	寄付				0
	その他				0
一般	12,844	7,676	89,625	110,145	

事業整理シート

事業名	消防救急デジタル無線更新事業	整理番号	3202-130			
所管	消防本部 通信指令課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2026年度 (令和8年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	電波法
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
					
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足			

●事業の内容

目的	老朽化した消防救急デジタル無線の更新を行う
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	計画的に設計業務を行い、結果に基づいた更新を行う
令和4年度末までの事業実施状況	令和8年度に更新予定の高機能消防指令システムとの共通インターフェイス使用及び両システムを整備する際の留意事項などについて検討している。現システムの定期的な保守を継続し、システムの安定稼働を図っている。
事業の背景・住民意見の反映	平成27年度に消防救急デジタル無線の運用が開始されたが、年数経過により修理対応不可な装置もあるため更新する必要がある。
事業の評価と改善 (R4→R5)	住民サービスを考慮し、消防救急デジタル無線の安定稼働を図ることにより、市町民の安全が確保でき、確実な事業完了を目指す。

●事業計画 (単位：千円)


		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容				基本設計業務委託	/
	事業費			5,000	5,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線	0	0	0	0
	負担				0
	小山			1,200	1,200
	寄付				0
	その他				0
一般	0	0	3,800	3,800	

事業整理シート

事業名	斎場火葬炉修繕事業	整理番号	5304-010			
所管	広域行政組合 庶務課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	5-3-4	施策名:	墓園・斎場の整備
	関連施策:		施策名:	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画			
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け				



●事業の内容

目的	斎場火葬炉主要耐火物等の整備(修繕)を行うことで、設備の延命化を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)及び管外利用者
手段	主燃炉、再燃炉及び共通煙道の耐火物積替え並びに付帯設備交換
令和4年度末までの事業実施状況	令和3年度に1号炉、令和4年度に3号炉の耐火物積替え並びに付帯設備交換修繕を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	斎場改修工事後14年が経過する。火葬炉は、通常の炉に比べ温度変化が大きいため、炉が傷みやすい。そのため、10～15年に一度大規模な補修を行い、設備の延命化を図る必要があるため、R3年度から4か年計画で火葬炉3基と動物炉1基の修繕を順次実施していく。また、今後の火葬件数の増加及び大型棺に対応するため、1炉増設と既存炉1炉の大型化を実施する。
事業の評価と改善(R4→R5)	今後は死亡者数の増に伴い一日当たりの火葬件数の増加が見込まれること及び大型棺に対応するため、1炉(4号炉)増設と2号炉を更新して対応する。これにより、今後は火葬炉の改修時に3炉を確保することができ、火葬件数の増加にも対応できる。また、最新炉に更新することで使用燃料の節約が図られる。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		・火葬炉付帯設備交換 ・盤内計装機器の更新	・2号炉の更新 ・動物炉主燃炉、再燃炉の耐火物積替		
	事業費	20,000	74,000		94,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	15,000	55,500		70,500
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	1,183	4,379		5,562
	寄付				0
	その他				0
一般	3,817	14,121	0	17,938	

事業整理シート

事業名	斎場改修事業	整理番号	5304-020			
所管	広域行政組合 庶務課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2030年度 (令和12年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	5-3-4		施策名: 墓園・斎場の整備
	関連施策:			施策名:
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画			
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを		
				
国土強靱化計画における位置付け				

●事業の内容

目的	斎場改修を行うことで、施設の長寿命化を図りつつ、住民要望への対応を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)及び管外利用者
手段	建物劣化診断に基づく、建物の外部改修、増設により長寿命化と利便性の向上を図る。
令和4年度末までの事業実施状況	付帯設備修繕を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	斎場改修工事後14年が経過し、老朽化による施設の不具合が発生している。また生活様式や新型コロナウイルス感染拡大を経験したことにより、建設時に想定されていない要望が寄せられている。また火葬件数が急増していることから、日当りの火葬数の増加に対応可能な施設改修を行う。
事業の評価と改善(R4→R5)	公共施設総合管理計画を基に、R3年度から4か年計画で火葬炉について修繕を順次実施している。しかし、火葬件数が急増していることから、1日当りの火葬数の増加に対応可能な施設改修が急務となっている。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業内容	・斎場 建築物調査、設計 ・照明器具LED化 ・外構 設計、工事	・外壁、授乳室改修 ・収骨室、倉庫増築	・設備修繕	/
	事業費	26,400	63,000	8,000	97,400
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	0	47,200		47,200
	財線	0	0	0	0
	負担				0
	小山	6,248	3,740	1,893	11,881
	寄付				0
	その他				0
一般	20,152	12,060	6,107	38,319	

事業整理シート

事業名	衛生センター施設修繕整備事業	整理番号	5505-010			
所管	広域行政組合 衛生センター	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	2	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2011年度 (平成23年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本計画における位置付け	施策番号:	5-5-5	施策名:	衛生センターの整備	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置付け	衛生センター長寿命化計画				
SDGsでの位置付け	目標6	安全な水とトイレを世界中に			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	f-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止			

●事業の内容

目的	衛生センターの主要装置の整備(修繕)を行うことで、施設の延命を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民
手段	極低濃度水洗脱臭塔整備修繕、曝気槽散気管装置ディフューザー交換修繕、I 剤溶解槽交換修繕
令和4年度末までの事業実施状況	流量計、風量計及び曝気ブロワモーター交換の修繕を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	施設稼働後38年が経過し、経年的な消耗が著しく、機械設備、各槽等の老朽化に対応するため補修整備を行う。施設更新計画検討の時期だが、2015年(平成27年)に施設の躯体調査を行った結果、躯体の健全性は保たれているとの調査結果から、更なる施設の延命化を図るため、今後、機械設備等の修繕整備を行う必要がある。
事業の評価と改善(R4→R5)	令和4年度に施設修繕整備を実施したことにより、良好な機械装置の環境を保ち、公害防止協定の排出基準値を遵守した。引続き、精密機能検査に基づき、施設の老朽化及び経年的な消耗に対し、劣化状態を見極め修繕内容の優先順位を見直し、適時、適切に改善を行っていく。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		極低濃度水洗脱臭塔整備修繕	曝気槽散気管装置ディフューザー交換修繕	I 剤溶解槽交換修繕	/
事業費		14,000	13,200	14,000	41,200
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	3,644	3,436	3,644	10,724
	寄付				0
その他				0	
一般	10,356	9,764	10,356	30,476	

事業整理シート

事業名	ごみ焼却施設周辺整備事業	整理番号	6601-030			
所管	広域行政組合 資源循環課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	2	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～	2035年度 (令和17年度)	根拠法令・要綱等	ごみ焼却施設の建設及び操業に関する合意書
基本計画における位置付け	施策番号:	6-6-1	施策名:	都市計画道路・幹線道路の整備推進	
	関連施策:	6-6-2	施策名:	生活道路の整備	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	目標12	つくる責任 つかう責任			
国土強靱化計画における位置付け	f-4	地域交通網の長期間にわたる機能停止			

●事業の内容

目的	ごみ焼却施設の周辺地区である板妻区及び神場区への地域振興策として、道路、河川等の公共工事を実施する。
対象	板妻区及び神場区の住民
手段	地元区の要望に基づき、広域行政組合が御殿場市に委託して道路、河川等の公共工事を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	平成27年度から、板妻区及び神場区の要望に基づき、道路河川課に委託して、道路改良工事、生活道路舗装工事及び側溝改修工事等を順調に実施している。
事業の背景・住民意見の反映	ごみ焼却施設建設及び操業に関する基本協定書に基づき、地元区との定期協議会で内容を協議し地元区の要望に即した公共工事を実施する。
事業の評価と改善 (R4→R5)	毎年度、地元区と協議し、要望箇所を見直し、関連する都市計画道路(神場・板妻・印野線)の工事の進捗等を考慮して、効率的な工事を実施している。

●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業内容	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	/
	事業費	30,000	30,000	30,000	90,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	27,000	27,000		54,000
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	710	710	7,100	8,520
	寄付				0
その他				0	
	一般	2,290	2,290	22,900	27,480